

# 農地・水・環境保全向上対策 活動事例

上陽地区農地・水・環境保全組織



## 上陽地区の概要

- ◎ 平成19年度採択
- ◎ 協定面積 221.6ha  
(田156.6ha, 畑65.0ha)
- ◎ 交付金対象面積 167.3ha  
(田130.0ha, 畑37.3ha)
- ◎ 活動の対象：農地、水路、農道
- ◎ 米麦中心の農業が盛んな地域
- ◎ 複数集落にまたがり、営農生産組合が組織されている
- ◎ 混住化が進み、農地周辺環境への懸念

## 活動組織の構成

### ■ 農家

- ◎ じょうよう営農生産組合 (130名)
- ◎ 佐波伊勢崎農事支部 (6名)
- ◎ 認定農業者 (5名)

### ■ 非農家

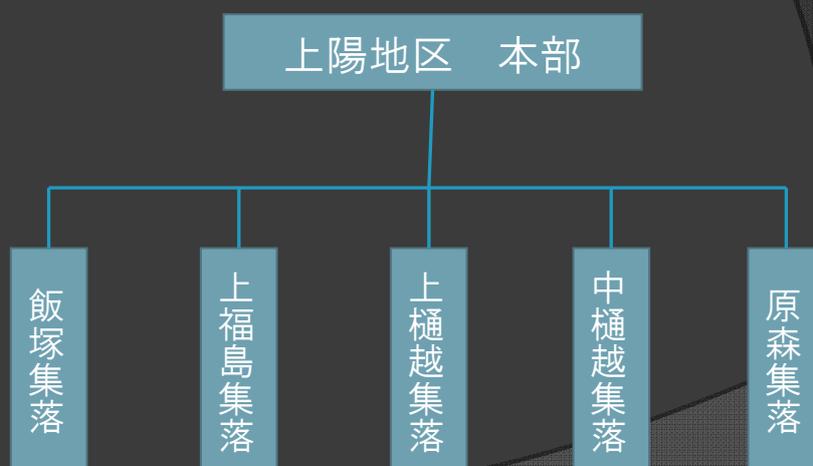
- ◎ 玉村町上陽区 (1,725戸)
- ◎ 玉村町保健衛生支部 (5名)

## 活動の基本方針

- ◎ 「自分たちで出来ることは自分たちで」
- ◎ 複数集落のとりまとめ



## 組織体系



## 年度活動の基本方針・重点項目

- ◎ 平成19年度 分水栓の設置
- ◎ 平成20年度 遊休農地解消 ヒマワリ
- ◎ 平成21年度 遊休農地解消  
菜の花,コスモス,ヒガンバナ
- ◎ 平成22年度 カバープランツ植栽  
センチピートグラス
- ◎ 平成23年度 水路目地の補修
- ◎ 隔年で畦畔の再構築

## 活動事例 水路



水路の泥上げ



土砂の多いところは重機も活用

## 活動事例 水路



分水栓の設置



自前で施工

## 活動事例 水路



上流域からのゴミが  
ゲート付近に貯まってしまふ



用水路から溢れた水が道路に  
流れてしまうことも

## 活動事例 農地



遊休農地の除草



畦畔の再構築

## 活動事例 農道



耕作道の草刈り



農道の路肩の草刈り  
作業後には植栽も実施

## 活動事例 施設診断



開水路の診断状況



ゲートの診断状況

## 活動事例 補修



ゲートの塗装



規模や劣化状況に応じて補修

## 活動事例 景観形成①



菜の花畑の準備中



住民に知らせるため、  
コスモス畑の看板も設置

## 活動事例 景観形成②



菜の花の管理状況



コスモスは子どもにも人気

## 活動事例 地域交流①



道普請 住民が集合

## 活動事例 地域交流②

水田の無い、上野村の小学生を招いて農業体験



農家に教わりながらの田植え

作業を終えての集合写真

# 活動事例 地域交流③

水田の無い、上野村の小学生を招いて農業体験



秋の収穫体験



上野村で餅つき

## 田植え、稲刈りに参加した子どもの作文

二回目の稲刈りをして

私は今年、二回目の稲刈りを体験しました。一回目は、少し天気が悪かったです。今日は晴れてうれしかったです。六月の田植えから四ヶ月、稲がどのよう成長したか、楽しみに私と妹は上野村を出発しました。緑でまた小かた稲は、金色でとても大きくなっています。おとうぎました。玉村町のみなさんが今日までお世話してくれました。ことに感謝しました。活動では、教えてもらったり、方々で人の稲を刈りました。慣れてくると、だんだん早く刈れるようになり、道をつくらなくなりました。とても楽しかったです。田植えも稲刈りもすごく楽しかったです。来年もやりたいです。本当にありがとうございました。

## 活動を通じて

- ◎ 地域住民がゴミ拾いを体験することで、道路や水路にゴミを捨てなくなる
- ◎ 農家と非農家の顔が見える交流
- ◎ 世代間での交流も増えつつある
- ◎ 協働で作業を行うという意識が芽生えた

## 玉村町の担当者は・・・

- ◎ 地域の様々な問題を自ら解決しようとする姿勢で活動されている。
- ◎ 本活動を通じて行政とも連携し、活動組織と行政の役割分担を行いながら、地域の問題を早期解決している。

## 活動を通じての問題点

- ◎ 農業者や自治会が中心
- ◎ 10年後の活動人員の減少が予想される
- ◎ 子どもを中心とした交流を増やしたい

## 今後の展望 ～体制整備構想(案)より～

- ◎ 食糧の安定供給、良好な景観形成
- ◎ 活動の担い手や後継者の育成
- ◎ 非農業者の参加による活動の充実
- ◎ 認定農業者の増加
- ◎ 集落営農組合の法人化

## 今後の展望

- ◎ イベント企画等のできる人材を育成
- ◎ 農作業体験イベント開催による、地区外住民の参加
- ◎ 花いっぱい祭りの開催による、さらなる住民意識の向上

ご清聴感謝いたします。

上陽地区役員一同

